


収 受	
令和	-3.6.28
環境第 環境第	471-5 号 号
 吹田市	

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2021年6月25日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府吹田市幸町29番1号

氏名 山崎製パン株式会社大阪第一工場

執行役員工場長 鶴田 博保

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6381-2272

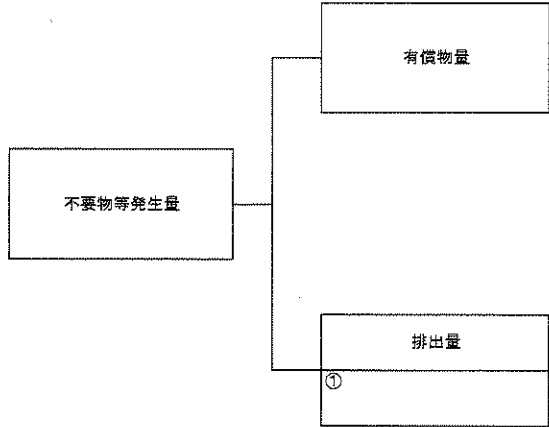
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2020年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	山崎製パン株式会社大阪第一工場		
事業場の所在地	大阪府吹田市幸町29番1号		
事業の種類	09：食料品製造業（パン、和洋菓子製造販売）		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	21,118 t	全処理委託量	3,273 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1,206 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,610 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	19,900 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	622 t

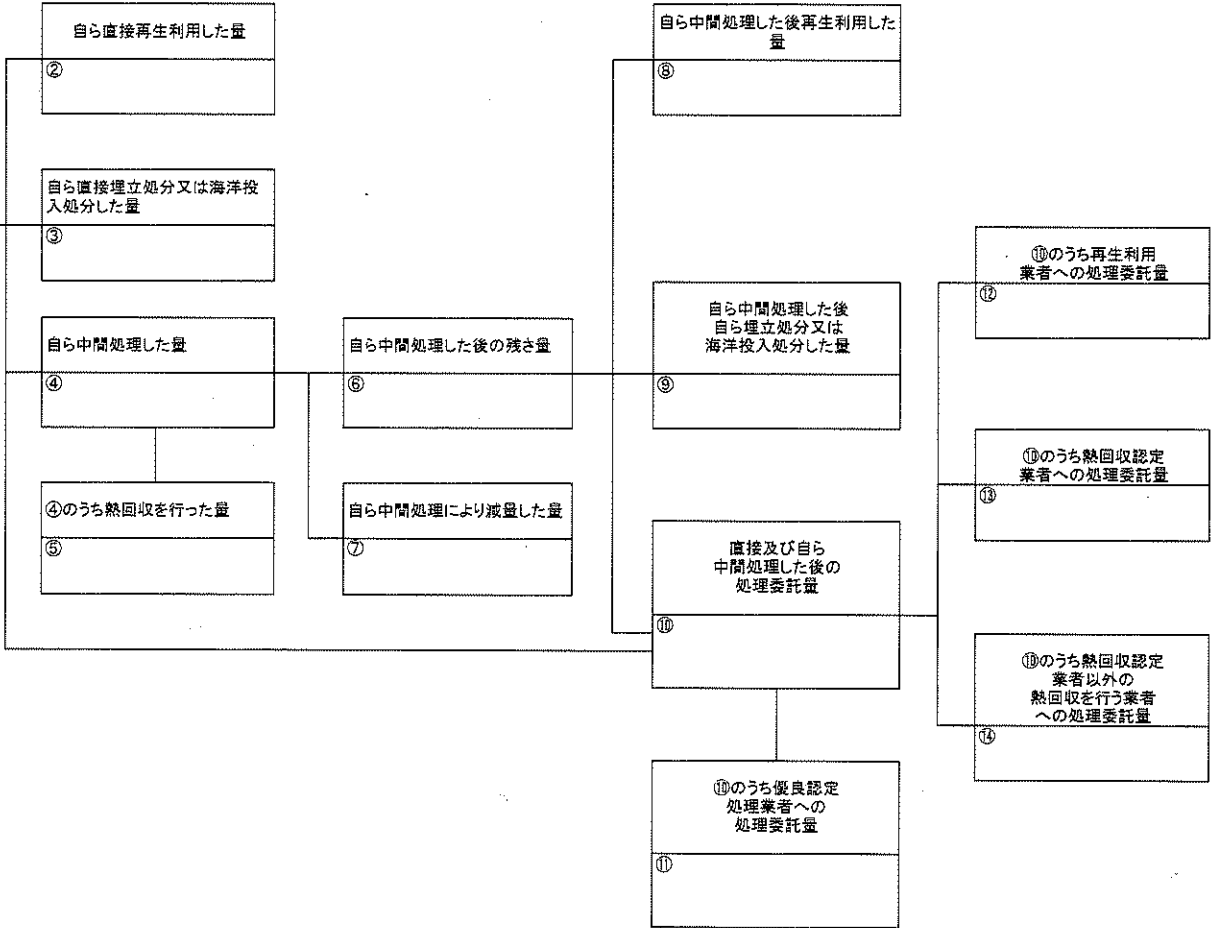
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

別紙3のとおり



項目	実績値
①排出量	0.000
②+④自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(2020年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況													②+⑧ 自ら再生利 用を行った 量	③+⑨ 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分を 行った量
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間処 理した量	⑤④のうち 熱回収を 行った量 (自ら熱回 収を行った 量)	⑥自ら中間処 理した後の残 さ量	⑦自ら中間処 理により減量 した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分し た量	⑩直接及び自ら 中間処理した 後の処理委託 量(全処理委託 量)	委託先による区分				
コード	名称										⑪ ⑩のうち優 良認定処理業 者への処理委 託量(優良認 定処理業者へ の処理委託 量)	⑫ ⑩のうち再 生利用業者へ の処理委託量 (再生利用業 者への処理委 託量)	⑬ ⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量(熱回収認 定業者への処 理委託量)	⑭ ⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量 (熱回収認定 業者以外の熱 回収を行う業 者への処理委		
210	有機性汚泥	18,530.100			18,530.100		1,228.620	17,301.480		✓ 1,228.620	✓ 67.640	1,228.620			0.000	0.000
300	廃油	8.290								✓ 8.290	✓ 8.290		8.290	0.000	0.000	
400	廃酸	17.660								✓ 17.660	✓ 17.660	17.660		0.000	0.000	
600	廃プラスチック類	672.050								✓ 672.050	✓ 662.960	14.770	657.280	0.000	0.000	
1000	動植物性残渣	551.410								✓ 551.410		551.410		0.000	0.000	
2522	蛍光灯	0.370								✓ 0.370	✓ 0.370	0.370		0.000	0.000	
3100	廃電気機械器具	0.150								✓ 0.150		0.150		0.000	0.000	
3520	乾電池	0.590								✓ 0.590	✓ 0.590		0.590	0.000	0.000	
合計		19,780.620	0.000	0.000	18,530.100	0.000	1,228.620	17,301.480	0.000	✓ 2,479.140	757.510	1,812.980	0.000	666.160	0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。

※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

様式第二号の九の第二面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①~⑭)に示す量を表に入力。